

科 目	母性看護学実習				
時間数	2 単位 90 時間	授業方法	実習	授業時期	3 年
実習場所	愛媛労災病院、県立新居浜病院				
ねらい	母子を取り巻く環境を理解し、より健康な子どもを生み育てるための母性への支援のあり方を学び、母子の個々に応じた看護が実践できる能力を養うとともに、自らの母性・父性意識の向上をめざす。				
目 標	1. 母性のもつ特殊性を理解し、母性看護に求められる基本的な姿勢が習得できる。 2. 受け持ち母子の妊娠・分娩(出産)・産褥のウェルネス看護診断に基づいた看護過程を展開しアセスメント能力の習得と母子一体の個別性のある援助・指導ができる。 3. 新生児の生理的特徴が理解でき、安全、安楽に留意した看護技術が提供できる。 4. 母子に関係する社会資源の活用がわかり、継続看護の必要性が理解できる。 5. 母子の相互作用の大切さが理解でき、母性・父性について考えることができる。				
授業計画					
内 容	1. 妊娠・分娩・産褥期にある対象の経過および看護が理解でき、援助できる。 2. 新生児の生理的特徴が理解でき、観察・計測が行える。 3. 母子に関係する社会資源が理解でき、他職種の連携について説明できる。 4. 実習を通して自らの母性観・父性観を深め、自分の言葉で表現できる。				
評価方法	母性看護学実習評価表、適性態度評価表を総合して評価する。				